

大麦管理情報（防除号）

令和5年4月吉日
高岡市農業協同組合
高岡農林振興センター

本年は根雪期間がなく、大麦の生育は平年より早く推移しています。出穂期は、4月8～15日頃と見込まれます。

赤かび病の防除は、出穂期から3日後の穂揃期（開花始め）が最も効果的です。ほ場ごとの出穂状況を必ず確認し、穂揃期（開花始め）とその7日後の2回防除を確実に実施しましょう。

赤かび病の防除

○ 防除時期の目安 ～必ず、ほ場の出穂状況を確認して防除～

1回目 穂揃期（開花始め）：4月11日～18日頃

2回目 1回目の7日後：4月18日～25日頃

○ 防除薬剤

防除回数	粉剤の体系	液剤の体系	無人ヘリ防除
1回目	トップジンM粉剤 4kg/10a	トップジンM水和剤 1,000倍液 150ℓ/10a	シルバキュアフロアブル 16倍液 800cc/10a
2回目	ワークアップ粉剤DL 3kg/10a	シルバキュアフロアブル 2,000倍液 150ℓ/10a	トップジンMゾル 8倍液 800cc/10a

○ 留意事項（注意点）

- 検査規格における赤かび粒の混入限度は0.0%のため、検査皿約1,000粒に1粒でもあると規格外となります。
- 気温が高く推移すると生育は早くなり、気温が低く推移すると生育は遅くなります。防除前に必ず出穂状況を確認しましょう。
- 防除のタイミングがずれたり、1回目と2回目の間隔があきすぎると、効果が低くなります。防除後、1時間程度（液剤が乾く時間）雨が降らなければ、一定の効果が見られます。降雨が続く場合でも、晴れ間をみて確実に散布してください。
- 薬剤散布に当たっては、事前に周囲に住んでいる方へ周知を行うとともに、他作物へ飛散（ドリフト）しないように十分注意しましょう。